

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society, No. 47

目次

1. [第 61 回大会のご案内](#)
2. [各種委員会からのお知らせ](#)
3. [お知らせ](#)
 - 学会への寄贈図書
 - 新入会員
 - 年会費納入のお願い
 - 総会の開催について
 - 特別会員制度について

1. 第 61 回大会のご案内

第 61 回大会準備委員長 山崎 直也

この度、日本比較教育学会第 61 回大会を帝京大学八王子キャンパスにおいて 2025 年 6 月 27 日（金）～29 日（日）に開催させていただくことになりました。日本比較教育学会が創設 60 周年を迎える 2025 年は、帝京大学にとっても、2026 年の創立 60 周年に向かう重要な 1 年です。

《二つの 60》が交わる年に、本学で大会をお引き受けすることができ、大きな喜びを感じております。第 61 回大会は全面対面での開催を予定しており、大会日程はほぼ例年同様に組んでおります。昨年、名古屋大学で開催された第 60 回大会では、プレ企画「フィルムカメラの時代の比較教育学」が行われましたが、今回も学会創設 60 周年を記念する企画を予定しております。

シンポジウムは「大学の『国際化』を再考するーモビリティがもたらすキャンパスの変容ー」というテーマで、高等教育の国境を越えたモビリティが完全に普遍化・常態化した今日、大学の学びはいかにあるべきかを理念と実践の両面から改めて考えてみたいと思います。

課題研究Ⅰ「ボーダースタディーズが照らし出す国境・境界地域の比較教育（仮）」は、世界の多様な国境・境界地域の教育について、ボーダースタディーズの分析法である透過性とタイムラインによって比較する試みです。課題研究Ⅱ「つながる時代の比較教育学を問い直す（2）ー教育実践とのつながりを考えるー（仮）」は、「つながる時代の比較教育学を問い直す」という 3 年間の研究委員会のテーマに即した継続企画であり、今回は比較教育学と教育実践のつながりに焦点を当てます。ここで言う教育実践とは、いわゆる学校教育における授業だけではなく、広く比較教育学が貢献しうる領域（教育政策、教育協力、国際交流等）を想定し、学問としての比較教育学が有するプラクティカルな特徴を議論していきます。

大会への参加・発表申し込み、発表要旨の登録などにつきましては、例年同様、ウェブ上で行っていただくことができます。プログラムにつきましても、郵送はせずにウェブ上からダウンロード

していただく形となります。詳しくは大会ホームページでご確認ください。会員の皆さまにご不便のないよう、大会準備委員会一同、できる限りの準備を心がけます。実り多い大会となりますよう、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

・日本比較教育学会第 61 回大会ホームページ

<http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/61/>

・大会日程および開催地

2025 年 6 月 27 日（金）～29 日（日） 帝京大学八王子キャンパス

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
6/27 (金)	常任理事会				全国理事会				ラウンドテーブル			
6/28 (土)	自由研究発表Ⅰ		60周年 記念企画	自由研究発表Ⅱ		公開シンポジウム			総会		情報交換会	
6/29 (日)	自由研究発表Ⅲ		ブック トーク 若手研究 者交流会	自由研究発表Ⅳ		課題研究発表Ⅰ・Ⅱ						

* 時間帯は概要を示しています。

・大会当日までの主な日程

2025 年 3 月 3 日（月）	発表申込受付開始／参加申込受付開始
2025 年 4 月 4 日（金）	発表申込締切（18 時まで）
2025 年 4 月 11 日（金）	発表要旨提出開始
2025 年 5 月 8 日（木）	発表要旨提出締切（18 時まで）
2025 年 5 月 15 日（木）	大会プログラム（PDF）のウェブ公開
2025 年 6 月 9 日（月）	発表要旨集録（PDF）のウェブ公開※大会参加費支払済の方のみ
2025 年 6 月 29 日（日）	参加申込・大会参加費払込締切（12 時まで）

・大会参加費等の振込みのお願い

大会参加費等のお支払いは、原則クレジットカードによる決済をお願いいたします。参加申込完了画面からクレジット決済の手続きができます。大会参加費のお支払いは 6 月 29 日（日）正午まで受け付けます。なお、お支払い済の大会参加費等は理由のいかんを問わず、返却いたしません。

日本比較教育学会第 61 回大会準備委員会 連絡先
〒192-0395 八王子市大塚 359 帝京大学
山崎直也（大会準備委員長）研究室気付
日本比較教育学会第 61 回大会準備委員会宛
E-mail: jces61tu@gmail.com

2. 各種委員会からのお知らせ

平塚賞運営委員会 委員長 乾 美紀

平塚賞は、初代会長平塚益徳博士の業績を記念し、比較教育学研究の発展を期して、若手学会員の研究を奨励することを目的としています。これまで年 1 回、34 年間にわたって審査が行われ、多くの方が受賞されてきました。受賞者と受賞作品を学会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。英語でも記載しております。

選考の対象となる若手学会員は、著作が発表された時点で、40 歳程度を上限とする学会員としています。平塚賞についての応募要領「平塚賞候補著書・論文推薦書」は学会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。若手研究者の方々、ぜひご研究の集大成を公刊し、積極的に応募して下さいようどうぞよろしくお願いいたします。

紀要編集委員会 委員長（後期） 小川 佳万

2025 年 1 月期限の第 71 号投稿分から紀要編集委員長を担当いたします、広島大学の小川佳万です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。すでに何度もお伝えしておりますとおり、今回の第 71 号からオンライン投稿システムに完全移行いたしました。これにより、従来の郵送提出に必要な論文や書類の印刷、コピー作成等が省略でき、また海外からの投稿についても日時を気にせずに投稿していただけるようになりました。オンライン化により利便性が格段に高まり、今のところ大きなトラブルなく運用できております。学会誌は学会の発展にきわめて重要な役割を果たしていますので、委員長としてその活性化に少しでも貢献できればと考えております。なお、次回の締め切りは 7 月下旬になります。投稿の際には必要書類をすべて「投稿要領」に沿った形で準備できているか、等の確認をお願いいたします。また共著に関することで「投稿要領」を改正いたしましたので、そちらもご確認ください。

研究委員会 委員長 佐藤 仁

今期の研究委員会は、「つながる時代の比較教育学を問い直す」を 3 年間の研究テーマとして設定しています。第 61 回大会では、前回大会に引き続き、この研究テーマの下で「比較教育学と教育実践のつながり」を議論する予定です。ここで言う教育実践とは、学校教育における授業だけではなく、広く比較教育学の関りがある領域、例えば教育政策、教育開発、国際交流等を想

定しています。学問の社会的有用性や社会的インパクトが問われる中で、比較教育学が想定する「教育実践」とは何を意味するのか、比較教育学と教育実践はどのようにつながるのか、その時、両者はどのようなスタンスをとるのか、といったことを改めて考えたいと思っています。詳細は、大会案内をご確認いただくとともに、ぜひ様々なアイデアや思いを研究委員会にお寄せいただければ幸いです。

国際交流委員会
委員長 黒田 一雄

国際交流委員会では、2024 年 11 月 22 日から 24 日に香港大学において開催された香港比較教育学会において、日本比較教育学会との共同セッション（JCES-CESHK Joint Session）を“Rebuilding Education for Breakthroughs We Need in the Post-2030: Roles of Comparative Education” のテーマで開催しました。このセッションは日本比較教育学会理事で香港比較教育学会理事でもある劉靖会員（東北大学）の企画により開催され、劉靖会員のほか、Jeremy Rappleye 会員（香港大学）、Maria Manzon 会員（上智大学）、Huijia Teh 会員（早稲田大学大学院）、Shuyu Xing 氏（香港大学大学院）、黒田一雄（早稲田大学）が登壇し、ポスト 2030 の教育グローバルガバナンスについてアジアの視点からの活発な議論が行われました。

広報委員会
委員長 丸山 英樹

現在、広報活動としては、紀要の J-Stage へのアップロード継続、メーリングリストの効率的運用、公式 Web サイト更新の 3 点を行っています。Web サイトについては、英語版の充実を心がけております。当初に予定していたソーシャルメディアでの情報共有については、米国企業のプラットフォームが公平性に欠けるリスクなどを勘案し、一時的に停止する方針です。会員の皆様からのご助言等を賜ることができたら幸いです。

若手ネットワーク委員会（Y-Net）
委員長 鴨川 明子
学生会員代表 八木 歩

■Y-Net 発の新たな企画として、「第 1 回トークイベント「子育て中の研究者と考える！研究者のワークライフバランス」をオンラインにて開催し、15 人の方が参加してくださいました。ゲストスピーカーの先生方、参加者のみなさま、ありがとうございます。

日時：2024 年 10 月 17 日（木）12:00～13:30（JST）

前半：各先生のご紹介およびご経験についてのお話

後半：皆さまからいただいたご質問内容に基づく先生方への質問

＜ゲストスピーカー＞

小原優貴先生（東京大学 グローバル教育センター 准教授）

渡辺雅幸先生（びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科 准教授）

神内陽子先生（名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 助教）

■第 5 回若手研究者座談会を開催しました。

日時：2025 年 2 月 19 日(水)19:00～20:30(JST)

方法：Zoom によるオンライン開催

トークテーマ：「成果発表の悩みあれこれ」

- ・学会誌への論文投稿の悩み
- ・査読結果に応じた試行錯誤
- ・学会発表資料の工夫
- ・学会以外での研究成果の発信 など...

■第 61 回大会 若手研究者交流会 を開催します。奮ってご参加ください！

日時：2025 年 6 月 29 日（日）お昼休み 予定

場所：帝京大学キャンパス

方式 対面

企画・運営 八木歩 他

申込方法：別途案内

■ぜひとも、会員の方々からのご意見やアイディアを、委員会専用のメールアドレス jces.ynet@gmail.com までお寄せください。

世界比較教育学会（WCCES）からのお知らせ
担当理事 服部 美奈・山田 肖子

1. カニシカ・ブディ先生を新会長とする WCCES 新体制のもと、杉村美紀会員が Bureau Member-at-Large の責任者として選出されました。杉村先生の任期は 2025 年から 2029 年の 4 年間です。杉村会員の選出は学会としても大変喜ばしく、WCCES と日本比較教育学会のつながりはより一層深まることを確信いたします。杉村先生、どうぞよろしくお願いいたします。

2. ポルトガル比較教育学会(The Comparative Education Section of the Portuguese Society of Education Sciences:SPCE-SEC) のホストにより、2025 年 7 月 16 日～18 日にポルトガル・リスボンの Lusofona University を会場として VI WCCES Symposium 2025 が開催されます。テーマは、“Renewing the Social Contract for Education: Navigating Possible Futures”で、開催形式は対面とオンラインのハイブリッドです。詳細は、<https://wcces2025.eventqualia.net/en/2025/home/>をご参照ください。

教育関連学会連絡協議会
担当理事 杉村 美紀

教育関連学会連絡協議会では、今年も 3 月に公開シンポジウムが予定されております。詳細は下記の通りです。日本比較教育学会からは国際交流委員会委員長の黒田一雄会員が登壇される予定です。ご関心のある皆様のご参加をお待ち申し上げます。

公開シンポジウム

「日本における教育学研究の国際化の現状と課題——教育関連学会の国際交流・海外発信の動向を踏まえて——」

日本における教育学研究の国際化の必要性が叫ばれて久しい。多くの教育関連学会では、国際交流委員会が設立され、国際シンポジウムや課題研究の企画、国際セミナーやワークショップの開催、学会間の相互交流やネットワークづくりなどがおこなわれている。一方で、日本の教育学研究にかかわるそれぞれの学会や学問がどのように国際交流や海外発信をしているのか、学会間・学問間の相互の情報については必ずしも十分に共有されていない。そこで、本シンポジウムは、日本における教育学研究の国際化の現状と課題について、それぞれの教育関連学会の国際交流・海外発信の動向の観点から考え議論することにしたい。

日時：2025年3月8日（土）14：15～17：15（途中休憩あり）

開催方法：オンライン Zoom ウェビナー

お申込み：下記の URL よりお申し込みください。

2025年3月5日までにお申し込みいただいた方に、Zoom ウェビナーの参加方法をご連絡します。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScVrjc3DFx4MU6jTzfOGEUIonlyd9JozMlzc6bKrmwGsRmdkw/viewform?usp=sf_link

主催：教育関連学会連絡協議会

問い合わせ先：教育関連学会連絡協議会事務局（日本教育学会事務局内）

jimu@jera.jp

● 学会創設 60 周年記念事業

担当理事 森下 稔

日本比較教育学会は 2025 年 3 月 31 日に創設 60 周年を迎えます。学会創設 60 周年記念事業実行委員会では、内部に編集委員会をおいて『日本比較教育学会 60 年の歩み』の発刊に向けて作業を行っています。2024 年 12 月には原稿執筆依頼を済ませ、集まった原稿によって編集を進めています。第 61 回大会でご披露できることを目指しています。また、第 61 回大会において、特別企画「フィルムカメラの時代の比較教育学」のイベントおよび展示を準備するように計画しています。発表要旨集録の公開のときに詳細をご案内できるようにします。

3. お知らせ

●学会への寄贈図書

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- 太田美幸、丸山英樹編著『増補改訂版 ノンフォーマル教育の可能性ーリアルな生活に根ざす教育へー』新評論、2025 年。 (<https://amzn.asia/d/1tIPGrx0>)
- 小川啓一・水野谷優編著『世界で花開く日本の女性たち：国際機関で教育開発に携わるキャリア形成』東信堂、2024 年。 (<https://amzn.asia/d/2HTilTO>)
- 園山大祐編著『海外の教育のしくみをのぞいてみよう：日本、ブラジル、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス』明石書店、2024 年。
(<https://amzn.asia/d/iaBRDCw>)
- 山田肖子『学びの本質』新潮新書、2024 年 10 月。 (<https://amzn.asia/d/8YQQzyo>)
- 山本須美子編『ヨーロッパの中国系新移民第 2 世代：コミュニティ・社会統合・アイデンティティ』明石書店、2024 年 10 月。 (<https://amzn.asia/d/8zszEv1>)
- 早稲田大学教育総合研究所監修『「先生は忙しい」というけれど…それって先生の仕事？ーフランスの教員の働き方を参考に考えるー』学文社、2025 年。
(<https://amzn.asia/d/5fPcCYl>)

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
日本比較教育学会事務局（松本研究室）

E-mail: jcesjimu@outlook.jp

TEL: 052-789-2634

（不在のことが多いため、できるだけメールでご連絡ください。）

●新入会員

<WEB 版では非公開>

●年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年 2 回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3 年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161 日本比較教育学会事務局

【注意】

所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000 円）をお支払いください。

会員情報、入退会、会費、システム、HP に関する連絡

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2-401

(株) ガリレオ 東京オフィス

学会業務情報化センター内

日本比較教育学会事務局

Tel : 03-5981-9824/ Fax : 03-5981-9852

E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>

●総会の開催について

日本比較教育学会では、本会の最高決議機関である総会の開催について、「年一回これを開き本会の重要事項を審議決定する。」（会則第 5 章第 18 条）とされています。本年度の第 61 回大会総会の詳細については、また追ってメーリングリストを通じてお知らせいたします。

●特別会員制度について

すでにご案内申し上げておりますとおり、2020 年 8 月に開催された総会にて、「特別会員」制度が認められました。この制度は「本会に対して一定の貢献があり、原則として 10 年以上にわたり本会の会員である者。かつ、常勤の定職にはついておらず学生の身分ではない者。」（会則第 4 条関係：細則第 2 条）となっており、会費は年額金 6,000 円です。特別会員になる場合には、学会事務局に申込み、常任理事会での承認を得ることとされています。お申し出は随時、学会事務局（jcesjimu@outlook.jp）で受け付けております。